

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表: 令和5年3月31日

事業所名 まいるーむ放課後こども教室ジャンプ

保護者等数(児童数) _____ 回収数 28 _____

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27			施設内を見たことがない	コロナの要件が緩和されていくので内覧会や保護者参加型の行事にて施設を見る機会を提供していきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	25	2		施設内を見たことがない、先生の入替わりがあるのでなかなか名前を覚えられない(名札があると助かる)	送迎時や保護者様対応時に名札の着用を徹底していきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	20	6		注意していない、施設内を見たことがない	入り口が階段になっている事業所はありますが手すりを付けるなどの工事を言い出来る範囲で対応しています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	26	1			
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	27				
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9	9	9	利用日がその機会に当たらずどちらとも言えない コロナ渦により実施が困難	コロナの要件が緩和されていくので他施設との交流機会を企画していきます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	2			
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	27	1		課題についての話はあまりなくその日の内容だけでもう少し知りたい	個別支援にて時間を確保し、より丁寧に説明できる機会を作ります。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	26	2		面談に参加していない	2ヶ月間の面談機関、Zoom設営を行うなど行いやすい設えを行っております。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	9	7	コロナ渦により実施が困難、参加できていない	年に1~2回程度しか企画できていません。参加しやすい曜日や日程を選定していきます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21	6		そのような事になっていない	今後とも継続して丁寧に対応していきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26	2		HUGがあるがうまく活用できません	活用、運用方法で不明な点がないように説明に努めます。また、SNSでも活動の様子を発信していますのでご活用いただけるよう発信していきます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	26	1		イベントの時の持ち物など連絡をもう少し早めに教えて頂きたい	HUGで1ヶ月前には告知を行うようにしていますが詳細を改めて早めのご案内が出来るようにしていきます。
14 個人情報に十分注意しているか	26	1	1			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	8	2		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	8	2		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	24	4		毎日楽しみにしています	
	18 事業所の支援に満足しているか	28			大満足です	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。